

Ⅱ 調査結果の概要

発 育 状 態

1 身長・体重・座高の平均値

平成27年度及び平成26年度の幼稚園、小学校、中学校、高等学校における幼児、児童及び生徒の身長・体重・座高の平均値を年齢別にみると、表1のとおりである。

表1 年齢別、身長・体重・座高の平均値

区 分		身 長 (cm)				体 重 (kg)				座 高 (cm)			
		男		女		男		女		男		女	
		H27	H26	H27	H26	H27	H26	H27	H26	H27	H26	H27	H26
幼 稚 園	5歳	110.1	110.2	109.2	109.6	18.8	18.7	18.4	18.6	62.2	61.9	61.4	61.4
小 学 校	6歳	116.5	116.5	115.9	115.6	21.4	21.5	21.2	21.0	65.0	65.0	64.6	64.5
	7	122.1	122.3	121.2	121.1	24.1	24.0	23.4	23.4	67.6	67.5	67.0	67.0
	8	127.6	127.6	127.0	127.4	26.7	26.8	26.2	26.7	69.9	70.0	69.8	70.1
	9	132.7	133.6	133.5	133.5	29.7	30.5	29.7	30.4	72.2	72.7	72.9	72.9
	10	138.7	138.3	140.0	140.6	33.7	33.1	34.3	34.6	74.8	74.6	76.0	76.1
	11	144.9	144.9	146.9	146.5	37.8	38.6	39.2	39.2	77.7	77.6	79.4	79.3
中 学 校	12歳	152.5	152.3	151.6	151.8	44.2	44.2	44.5	44.7	81.5	81.3	82.2	82.2
	13	159.3	159.3	154.5	154.4	48.6	48.7	47.4	47.4	84.8	84.7	83.7	83.7
	14	165.2	164.8	156.2	156.1	54.2	53.9	50.4	50.8	88.2	87.9	84.9	84.9
高 等 学 校	15歳	167.9	167.7	156.5	156.4	59.2	58.4	51.7	51.2	90.4	90.0	85.1	85.0
	16	169.3	169.6	157.0	157.8	60.2	61.3	52.3	53.9	91.2	91.3	85.3	85.8
	17	171.0	170.1	157.4	157.5	63.0	62.5	54.3	52.5	92.2	91.7	85.7	85.4

注) 1 下線の部分は調査実施以来最高を示す。以下の各表において同じ。

2 年齢は、平成27年4月1日現在の満年齢である。以下の各表において同じ。

(1) 身長

男子の身長は、5歳で110.1cm、11歳で144.9cm、14歳で165.2cm、17歳で171.0cmとなっており、10歳、12歳、14歳、15歳、17歳の各年齢で前年度より伸びている。

なお、各年齢間の身長差は11歳と12歳の間（7.6cm）が最も大きく、15歳と16歳の間（1.4cm）が最も小さい。

女子の身長は、5歳で109.2cm、11歳で146.9cm、14歳で156.2cm、17歳で157.4cmとなっており、6歳～7歳、11歳、13歳～15歳の各年齢で前年度より伸びている。

なお、各年齢間の身長差は10歳と11歳の間（6.9cm）が最も大きく、14歳と15歳の間（0.3cm）が最も小さい。

9歳から11歳で女子の身長は、男子の身長を上回っている。

(2) 体重

男子の体重は、5歳で18.8kg、11歳で37.8kg、14歳で54.2kg、17歳で63.0kgとなっており、5歳、7歳、10歳、14歳～15歳、17歳の各年齢で前年度より増えている。

なお、各年齢間の体重差は11歳と12歳の間（6.4kg）が最も大きく、15歳と16歳の間（1.0kg）が最も小さい。

女子の体重は、5歳で18.4kg、11歳で39.2kg、14歳で50.4kg、17歳で54.3kgとなっており、6歳、15歳、17歳の各年齢で前年度より増えている。

なお、各年齢間の体重差は11歳と12歳の間（5.3kg）が最も大きく、15歳と16歳の間（0.6kg）が最も小さい。

10歳から12歳の間で女子の体重は、男子の体重を上回っている。

(3) 座高

男子の座高は、5歳で62.2cm、11歳で77.7cm、14歳で88.2cm、17歳で92.2cmとなっており、5歳、7歳、10歳～15歳、17歳の各年齢で前年度より伸びている。

なお、各年齢間の座高差は11歳と12歳の間（3.8cm）が最も大きく、15歳と16歳（0.8cm）が最も小さい。

女子の座高は、5歳で61.4cm、11歳で79.4cm、14歳で84.9cm、17歳で85.7cmとなっており、6歳、11歳、15歳、17歳の各年齢で前年度より伸びている。

なお、各年齢間の座高差は10歳と11歳の間（3.4cm）が最も大きく、14歳と15歳、15歳と16歳の間（0.2cm）が最も小さい。

9歳から12歳の間で女子の座高は、男子の座高を上回っている。

2 身長・体重・座高の推移

(1) 身長の推移

- ① 身長の推移をみると、表2のとおり、男女ともここ数年ほぼ横ばい傾向を示している。
- ② 親の世代である約30年前(昭和60年)のと比較すると、男子の身長は、6歳で0.3cm、11歳で2.7cm、14歳で1.8cm、17歳で1.0cm高くなっている。
女子の身長は、6歳で0.5cm、11歳で1.8cm、14歳で0.4cm、17歳で0.3cm、30年前より高くなっている。
- ③ 下表の年齢区分で全国と比較すると、男子の14歳と17歳、女子の6歳と11歳で全国平均を上回っている。

図1 身長の推移

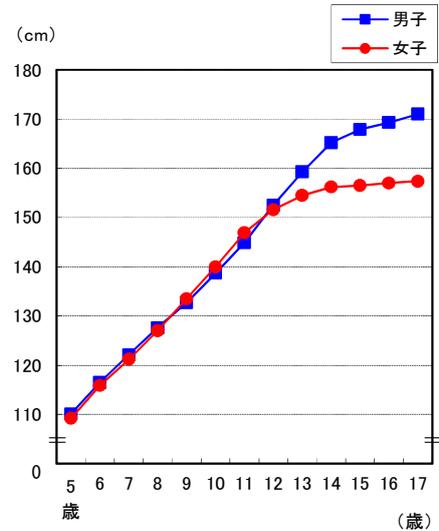
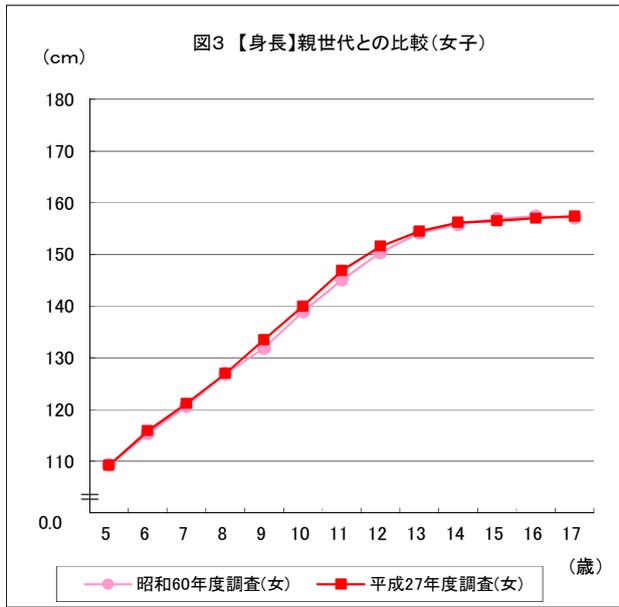
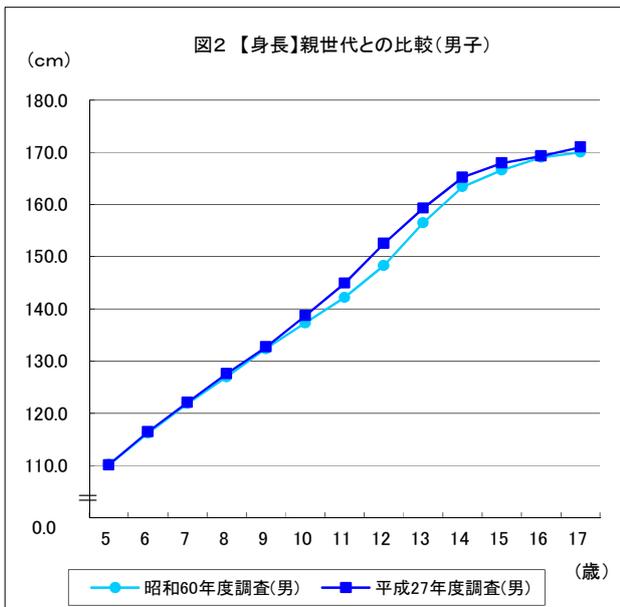


表2 身長の推移

(単位：cm)

区分	佐賀県							
	男				女			
	6歳	11歳	14歳	17歳	6歳	11歳	14歳	17歳
昭和60年	116.2	142.2	163.4	170.0	115.4	145.1	155.8	157.1
平成7	116.6	144.3	164.5	170.1	115.6	146.3	156.4	157.6
17	116.5	144.8	164.4	170.2	<u>116.0</u>	<u>147.6</u>	156.3	<u>158.1</u>
22	116.3	145.0	164.8	170.6	115.9	146.8	156.4	157.2
23	116.2	144.6	164.7	170.7	115.6	147.3	156.2	158.0
24	116.3	144.6	164.6	170.3	115.6	146.7	156.4	157.6
25	116.7	144.3	164.8	170.5	115.1	147.0	156.2	157.1
26	116.5	144.9	164.8	170.1	115.6	146.5	156.1	157.5
27	116.5	144.9	165.2	171.0	115.9	146.9	156.2	157.4
区分	全国							
	男				女			
	6歳	11歳	14歳	17歳	6歳	11歳	14歳	17歳
昭和60年	116.4	143.2	163.8	170.2	115.7	145.5	156.3	157.6
平成7	<u>116.8</u>	144.9	165.1	170.8	116.0	146.7	156.7	158.0
17	116.6	145.1	165.4	170.8	115.8	146.9	<u>156.8</u>	158.0
22	116.7	145.0	165.1	170.7	115.8	146.8	156.5	158.0
23	116.6	145.0	165.1	170.7	115.6	146.7	156.6	158.0
24	116.5	145.0	165.1	170.7	115.6	146.7	156.5	158.0
25	116.6	145.0	165.0	170.7	115.6	146.8	156.5	158.0
26	116.5	145.1	165.1	170.7	115.5	146.8	156.4	157.9
27	116.5	145.2	165.1	170.7	115.5	146.7	156.5	157.9



④年間発育量

17歳（平成9年度生まれ）の年間発育量をみると、男子では12歳時、女子では9歳時に最大の発育量を示している。

表3 【身長】平成9年度生まれと昭和42年度生まれの者の年間発育量の比較

(単位: cm)

区分		男子		女子	
		平成9年度生まれ (平成27年度17歳)	昭和42年度生まれ (親の世代の17歳)	平成9年度生まれ (平成27年度17歳)	昭和42年度生まれ (親の世代の17歳)
総発育量		60.2	—	47.5	—
幼稚園	5歳時	5.9	5.2	5.9	5.0
	6歳時	5.7	5.6	6.1	6.1
小学校	7	5.6	5.6	5.4	5.2
	8	5.6	4.9	6.1	6.5
	9	5.2	6.3	7.2	6.8
	10	5.6	5.2	6.2	6.3
	11	7.3	6.9	5.1	6.1
中学校	12歳時	7.7	7.6	3.1	3.4
	13	5.2	6.2	1.4	1.8
	14	3.6	3.6	0.5	0.7
高等学校	15歳時	1.4	2.7	0.9	1.0
	16	1.4	0.9	-0.4	-0.3

*年間発育量とは、例えば、平成9年度生まれの5歳時の年間発育量は、平成16年度調査6歳の者の身長から平成15年度調査5歳の者の身長を引いたものである。

図4 【身長】平成9年度生まれと昭和42年度生まれの者の年間発育量の比較(男子)

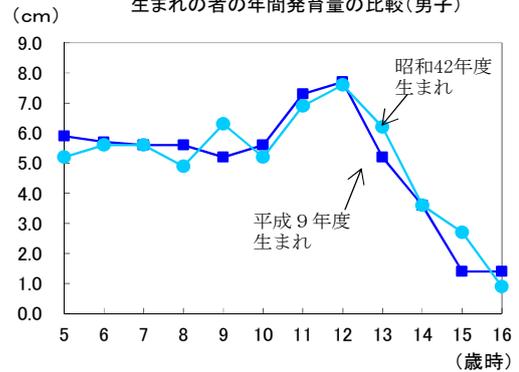
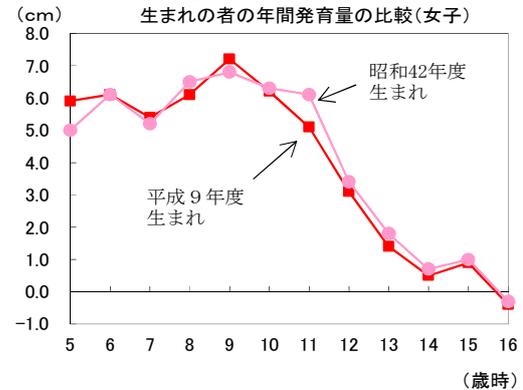


図5 【身長】平成9年度生まれと昭和42年度生まれの者の年間発育量の比較(女子)



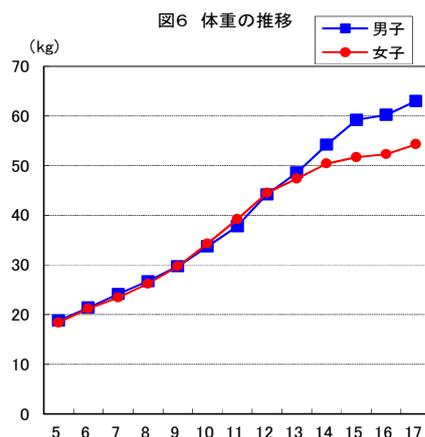
(2) 体重の推移

① 体重の推移をみると、表4のとおり男女とも、ここ数年はば横ばい傾向を示している。

② 約30年前（昭和60年度）と比較すると、男子の体重は、6歳で0.5kg、11歳で2.9kg、14歳で2.6kg、17歳で2.8kg重くなっている。

女子の体重は、6歳で0.6kg、11歳で1.9kg、14歳で1.4kg、17歳で2.2kg、30年前より重くなっている。

③ 下表の年齢区分で全国と比較すると、男子では6歳、14歳、17歳、女子では6歳、11歳、14歳、17歳で全国平均を上回っている。

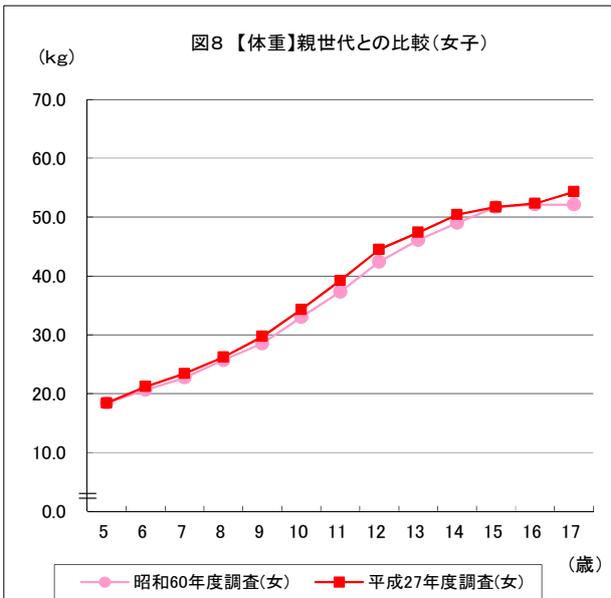
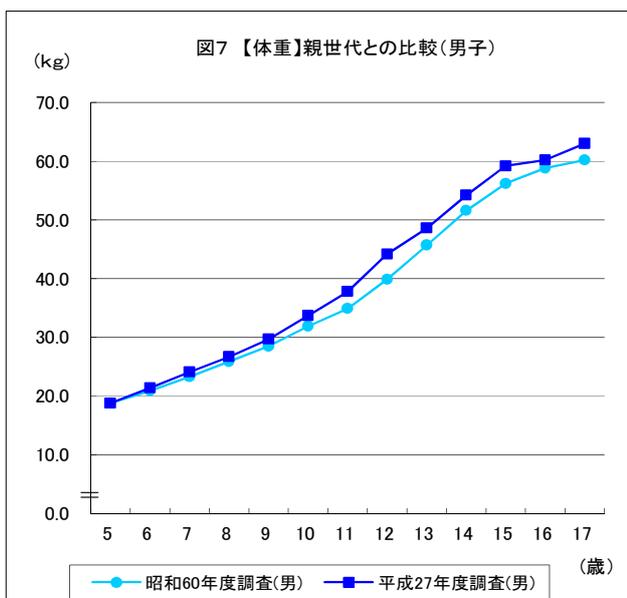


(歳)

表4 体重の推移

(単位：kg)

区分	佐賀県							
	男				女			
	6歳	11歳	14歳	17歳	6歳	11歳	14歳	17歳
昭和60年	20.9	34.9	51.6	60.2	20.6	37.3	49.0	52.1
平成7	21.6	37.6	53.2	62.2	20.7	38.9	50.2	52.8
17	21.6	38.7	54.5	63.4	21.3	40.1	<u>50.8</u>	<u>54.5</u>
22	21.4	38.2	54.4	63.9	21.0	39.4	50.5	52.8
23	21.3	37.5	54.0	63.8	20.9	39.5	49.8	53.8
24	21.2	37.3	54.2	62.8	21.1	39.3	49.6	53.3
25	21.6	37.9	53.6	63.9	20.8	38.9	50.3	52.5
26	21.5	38.6	53.9	62.5	21.0	39.2	<u>50.8</u>	52.5
27	21.4	37.8	54.2	63.0	21.2	39.2	50.4	54.3
区分	全国							
	男				女			
	6歳	11歳	14歳	17歳	6歳	11歳	14歳	17歳
昭和60年	21.2	36.5	53.0	61.5	20.7	37.8	49.8	52.8
平成7	21.7	38.6	54.7	63.0	<u>21.3</u>	39.6	50.5	53.3
17	21.6	39.1	55.3	63.8	21.1	39.5	50.8	<u>53.7</u>
22	21.4	38.4	54.4	63.1	21.0	39.0	50.0	52.9
23	21.3	38.0	54.2	63.1	20.8	38.8	49.9	52.8
24	21.3	38.2	54.2	62.9	20.9	38.9	49.9	52.9
25	21.3	38.3	54.0	62.8	20.9	39.0	49.9	52.9
26	21.3	38.4	53.9	62.6	20.8	39.0	50.0	52.9
27	21.3	38.2	53.9	62.5	20.8	38.8	49.9	53.0



④年間発育量

17歳（平成9年度生まれ）の年間発育量をみると、男子、女子共に、11歳時に最大の発育量を示している。

表5 【体重】平成9年度生まれと昭和42年度生まれの者の年間発育量の比較

(単位: k g)

区分	男子		女子		
	平成9年度生まれ (平成27年度17歳)	昭和42年度生まれ (親の世代の17歳)	平成9年度生まれ (平成27年度17歳)	昭和42年度生まれ (親の世代の17歳)	
総発育量	43.5	—	35.4	—	
幼稚園	5歳時	2.0	1.7	2.1	1.5
小学校	6歳時	2.9	2.1	2.7	2.4
	7	2.8	2.8	2.9	2.7
	8	3.8	2.5	3.5	3.4
	9	3.5	3.6	4.5	3.7
	10	3.2	4.0	4.4	5.1
中学校	11	6.5	4.8	5.5	5.1
	12歳時	5.2	5.4	3.2	4.2
	13	4.8	5.8	1.9	2.7
高等学校	14	5.1	5.1	3.1	3.0
	15歳時	2.0	2.6	1.2	0.7
	16	1.7	1.3	0.4	-0.5

*年間発育量とは、例えば、平成9年度生まれの5歳時の年間発育量は、平成16年度調査6歳の者の体重から平成15年度調査5歳の者の体重を引いたものである。

図9 【体重】平成9年度生まれと昭和42年度生まれの者の年間発育量の比較(男子)

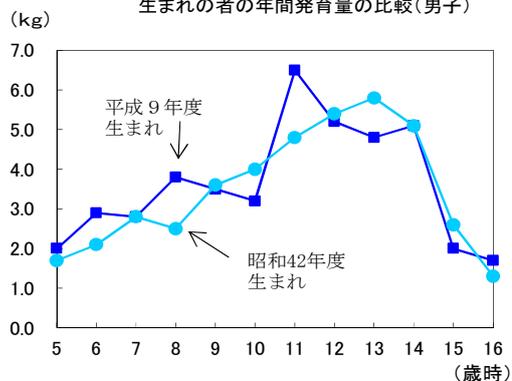
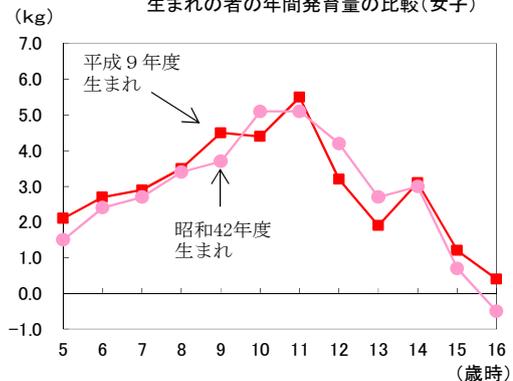


図10 【体重】平成9年度生まれと昭和42年度生まれの者の年間発育量の比較(女子)



(3) 座高の推移

- ① 座高の推移をみると、表6のとおり、男女ともここ数年ほぼ横ばい傾向を示している。
- ② 約30年前（昭和60年度）と比較すると、身長伸び等に伴い、男子の座高は、11歳、14歳の各年齢で1.4cm、17歳で1.5cm高くなっている。
女子の座高は、11歳で1.0cm、14歳で0.7cm、17歳で0.8cm高くなっている。
- ③ 下表の年齢区分で全国と比較すると、男子では6歳、17歳、女子では6歳、11歳で全国平均を上回っている。

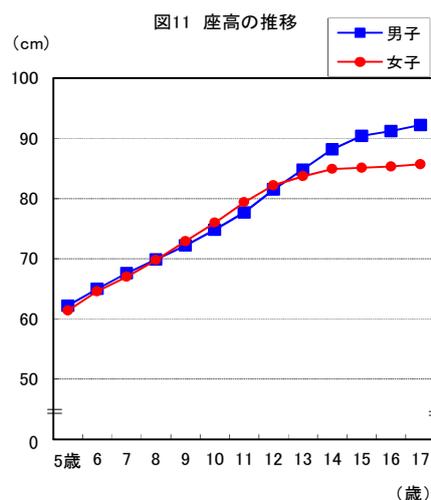


表6 座高の推移

(単位：cm)

区分	佐 賀 県							
	男				女			
	6歳	11歳	14歳	17歳	6歳	11歳	14歳	17歳
昭和60年	65.0	76.3	86.8	90.7	64.6	78.4	84.2	84.9
平成7	65.0	77.3	87.1	90.9	64.5	79.1	84.2	85.0
17	64.8	77.6	87.8	91.4	64.6	<u>79.7</u>	84.6	85.5
22	64.9	77.7	88.0	92.0	64.7	79.4	84.9	85.4
23	64.7	77.5	88.0	92.1	64.4	<u>79.7</u>	84.8	<u>86.0</u>
24	64.8	77.7	88.0	91.6	64.5	79.5	84.5	85.5
25	64.9	77.2	88.0	92.0	64.2	79.3	<u>85.0</u>	85.5
26	65.0	77.6	87.9	91.7	64.5	79.3	84.9	85.4
27	65.0	77.7	88.2	92.2	64.6	79.4	84.9	85.7
区分	全 国							
	男				女			
	6歳	11歳	14歳	17歳	6歳	11歳	14歳	17歳
昭和60年	65.2	76.7	87.0	90.8	64.7	78.5	84.5	85.1
平成7	65.1	77.6	87.6	91.1	64.7	79.3	84.6	85.3
17	64.9	77.7	88.1	91.7	64.5	79.3	<u>84.9</u>	85.6
22	64.9	77.6	88.1	91.9	64.5	79.2	84.8	85.8
23	64.9	77.6	88.1	91.9	64.4	79.2	<u>84.9</u>	85.8
24	64.8	77.5	88.2	91.9	64.4	79.2	<u>84.9</u>	85.8
25	64.8	77.6	88.1	92.0	64.4	79.3	<u>84.9</u>	<u>85.9</u>
26	64.8	77.6	88.1	92.0	64.4	79.3	<u>84.9</u>	<u>85.9</u>
27	64.8	77.7	88.2	92.1	64.4	79.2	84.9	85.9

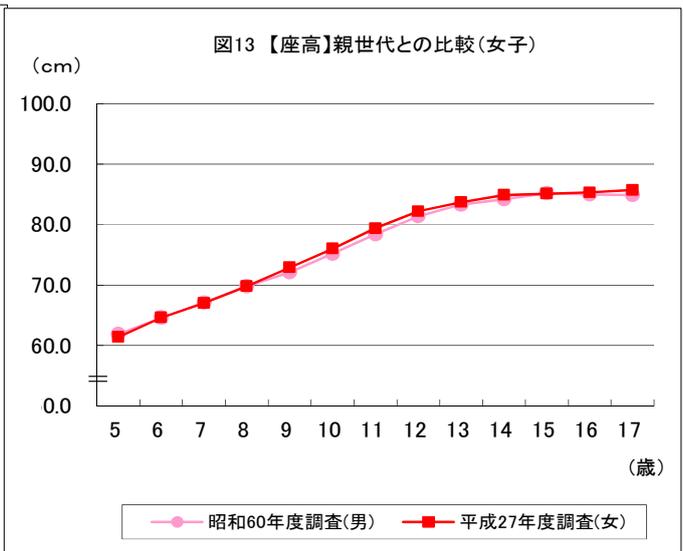
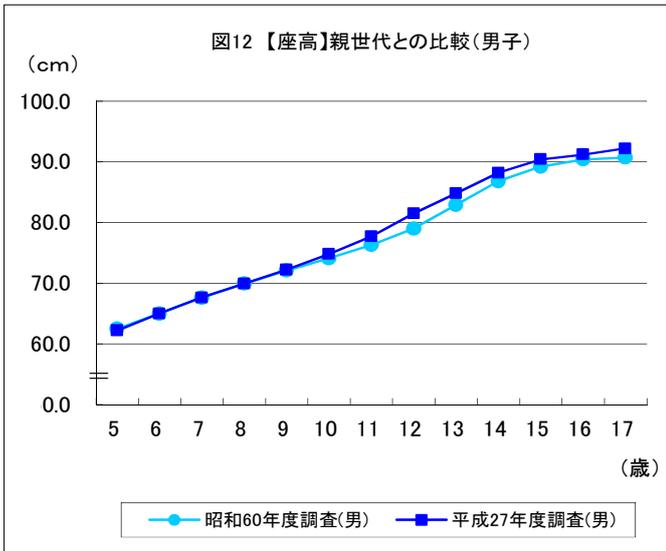


表7 親世代との年齢別 座高の比較

(単位: cm)

区分		男子			女子		
		平成27年度 A	昭和60年度 B(親の世代)	差 A-B	平成27年度 A	昭和60年度 B(親の世代)	差 A-B
幼稚園	5歳	62.2	62.5	-0.3	61.4	61.9	-0.5
	6歳	65.0	65.0	0.0	64.6	64.6	0.0
小学校	7	67.6	67.6	0.0	67.0	67.1	-0.1
	8	69.9	69.9	0.0	69.8	69.8	0.0
	9	72.2	72.1	0.1	72.9	72.1	0.8
	10	74.8	74.1	0.7	76.0	75.2	0.8
	11	77.7	76.3	1.4	79.4	78.4	1.0
中学校	12歳	81.5	79.0	2.5	82.2	81.4	0.8
	13	84.8	82.9	1.9	83.7	83.3	0.4
	14	88.2	86.8	1.4	84.9	84.2	0.7
高等学校	15歳	90.4	89.2	1.2	85.1	85.2	-0.1
	16	91.2	90.4	0.8	85.3	85.0	0.3
	17	92.2	90.7	1.5	85.7	84.9	0.8